

(別添資料1)

事業所名

さいころいりボンたいようのひろば

児童発達支援 支援プログラム

作成日

7 年

2 月

6 日

法人（事業所）理念		こどもたちのために 未来のために								
支援方針		・自己肯定感の高い子＝自分に自信を持てるよう支援します ・保護者様の気持ちに寄り添い、一緒に子どもの成長と発達を支援します								
営業時間		9	時	0	分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握 ・日常における1日のルーティン（生活リズム）と健全な生活の推進支援を行います。 ・食べることの大切さを伝えるための支援を行います。								
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の向上支援をします。 ・姿勢保持と運動機能、感覚に応じた個別の課題を抽出し支援します。 ・屋外活動を通じて遊具の遊び方を学び安全に遊ぶための育みと体の成長を支援します。 ・屋外活動を通じて匂い、形、硬さや触覚、危険物等の認識を五感を使って育みます。								
	認知・行動	・時間と行動の先行きを明確に示し、見通しを明らかに時間を使える支援をします。 ・得意なこと、苦手なことを理解し、得意分野を広げ、自信を蓄えられる支援をします。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すための制作活動等を取り入れた支援を行います。								
	言語 コミュニケーション	・具体的な物事や体験と言葉の意味を結び付け、自発的な言語の理解と自発的な発声を促す支援を行います。 ・子どもの発達状況に応じて言葉を通じて相手のことばの意味を理解したり、自分の考えを伝えたりして言語を受容し表出できる支援を行います。 ・活動場面による人との関わりを通じて、コミュニケーション能力の向上を図る支援を行います。								
	人間関係 社会性	・他者との関係・気持ちを理解し、適切な反応・行動ができるためのソーシャルスキル獲得支援を行います。 ・自分の気持ち・感情を自覚し情緒の安定を支援します。 ・一人遊びからルールを守って遊ぶ等の他者が関わる協同遊びへの育ちを促し、就学にむけての発達支援を行います。								
家族支援		・ご家族からご家庭での様子や心配事についてお話を伺う機会を設け、ご家庭と協同してできる支援の工夫や関わり方を一緒に検討・共有します。 ・保護者様自身の困りごとにも寄り添い、子どもの成長につなげる支援を行います。					移行支援		・移行先へ必要に応じ移行先に利用児の発達やこれまでの支援内容経過・方法等に関する情報を共有し、地域の支援体制事業所への後方支援を行います。	
地域支援・地域連携		・保育・福祉・教育・医療等の関係機関と連携し、地域の支援体制の充実や支援に係る課題改善、解決に参画します。 ・支援会議・モニタリングを通じて他事業所との情報共有・連携を図り、おおきなズレのない支援内容の確認を積極的に行います。					職員の質の向上		・外部研修の受講・会社研修を実施します ・半年に一度人事評価を行い、支援の考え、展開を確認し、良好な支援意識を維持・向上します。 ・事業所会議を定期開催し、職員同士の意思疎通、チームワークを高め、質の高い支援員を目指し続けます。	
主な行事等		・季節に関する行事（初詣 ひなまつり 節句 海の日 ハロウィン クリスマスなど） ・運動に関する行事（運動会 運動遊び など） ・工作に関する行事（段ボールハウスづくり 季節ごとの制作活動 など） ・遠足 など								